

令和6年度自立支援機器スペシャリスト育成研修 コミュニケーション支援技術 基本編

コミュニケーションに障害のある方の代替手段の一つに「重度障害者用意思伝達装置(以下、装置)」の利用があります。しかし、装置を利用する方の多くが進行性の難病のため、私たち支援者には症状の進行に伴った対応が求められることが少なくありません。

今回、進行性の難病の方へのコミュニケーション支援について学び、実際に装置を体験する場を設けました。また、厚生労働省が実施している装置を対象とした「補装具装用訓練等支援事業」を当センターにおいて令和3年度から5年度まで実施しましたので、あわせて報告いたします。皆様の参加をお待ちしております。

日 時 : 令和7年2月11日(火・祝) 13:00~16:30

開催方法: 来場とオンライン(Zoom)によるハイブリッド型研修

来場者会場 県リハビリテーションセンター 4階 大研修室

金沢市赤土町ニ13-1 TEL (076)266-2860

対 象 : リハビリテーション専門職、福祉用具専門相談員 等

内 容 : ①特別講演

「進行性の難病患者へのコミュニケーション支援について(仮)」
大阪市援助技術研究室 作業療法士 池田 真紀 氏

②補装具装用訓練等事業の報告

県リハビリテーションセンター職員

③事例報告

生体現象方式の装置の導入に至った経過(仮)

ダブル技研株式会社 堀込 貴嗣 氏

④体験実習 (15:20~来場参加者のみ)

入力方法の違いによる装置の体験



申し込み方法 : 裏面をご参照ください

～ 申し込み方法 ～

必要項目を記載し、下記メールアドレスまでお申込みください。

申込み先:sien@pref.ishikawa.lg.jp

(石川県リハビリテーションセンター支援課)

<必要項目>

件名) コミュニケーション支援技術
基本編の参加申し込み

- 内容) ① 氏名
② 勤務先名
③ 職種
④ 参加方法 来場 ・ オンライン
⑤ 電話番号(当日連絡がとれるもの)
⑥ 連絡メールアドレス



QRコードからも
申込み可能です

申し込み締め切り 令和7年2月5日(水)

～ 大阪市援助技術研究室のご紹介 ～

約30年間、主に重度の障がいのある方への補装具や福祉用具、住環境整備の相談、研究開発、普及事業に取り組んでいる機関です。

特に相談事業を通じて、筋萎縮性側索硬化症による重度障がいのある方への福祉用具支援技術サービスを提供され、その経験から現状の問題と課題をまとめ、個々のニーズに応じた具体的な問題解決を図っておられます。

～ ダブル技研株式会社のご紹介 ～

筋萎縮性側索硬化症などをはじめとする神経難病の障害分野での意思伝達装置、コミュニケーションツールや補助機器のものづくりメーカーでありながら、国内で販売されているほぼすべての関連製品を扱う国内で唯一の総合販売会社です。

受講における留意事項

- ・申し込み受付後、数日以内に受付完了メールを送信します。また、研修会について後日連絡する場合がありますので、当センターからのメール(sien@pref.ishikawa.lg.jp)が受信可能な状態に設定をお願いします。
- ・個人情報の取り扱いには十分留意します。
- ・ご不明な点がありましたら、お問い合わせください。

○ 問合せ先 ○

県リハビリテーションセンター 事務担当 東・北野

TEL:076-266-2860 e-mail:sien@pref.ishikawa.lg.jp